



2025年度 医用画像システム部会合同報告会 および特別講演会(第2回)

テーマ:

～標準化による相互運用性、安全性の確保に向けた取り組み状況～



部会マスコット

一般社団法人 日本画像医療システム工業会 (JIRA)
医用画像システム部会 部会長 湯澤 史佳



本日のプログラム

【合同(活動)報告会】(進行:高野副部長)

13:30~17:00

(1)開会挨拶	10分	(湯澤部長)	13:30~13:40
(2)報告1	30分	(前田委員長)	13:40~14:10
(3)報告2	30分	(堀野委員長)	14:10~14:40
(4)報告3	30分	(中野委員長)	14:40~15:10
(5)報告4	30分	(原 委員長)	15:10~15:40
(6)休憩	10分		15:40~15:50
(7)講演	60分	(松田先生)	15:50~17:00
(8)質疑・閉会挨拶		(高野副部長)	17:00 (17:10)

【報告タイトル】

13:40～15:40

1. 「新JESRA実運用に向けた検討WG」の活動

講師：医用画像システム部会 モニタ診断システム委員会委員長 前田 一哉

2. 「MDS/SDS、RSSの活用促進に向けた取り組み」

講師：医用画像システム部会 セキュリティ委員会委員長 堀野 誠人

3. 「DICOM委員会SWG活動状況」

講師：医用画像システム部会 DICOM委員会委員長 中野 信一

4. 「放射線レポート見落とし防止対策」

講師：医用画像システム部会 画像診断レポート委員会委員長 原 真

【講演タイトル】

15:50～17:00

特別講演

「X線画像表示媒体の変遷と精度管理」

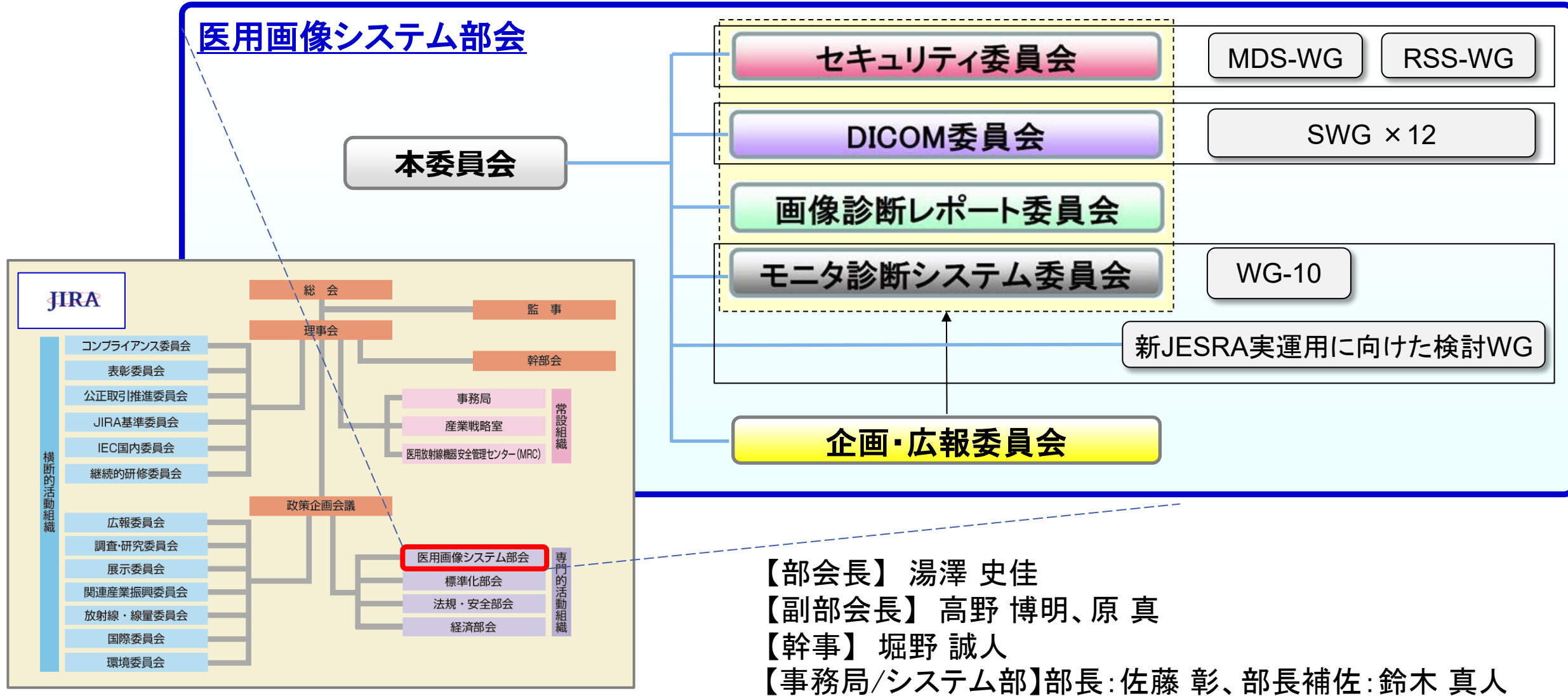
講師：

埼玉医科大学国際医療センター 中央放射線部

松田 恵雄 先生

医用画像システム部会の紹介

■ 医用画像システム部会の組織

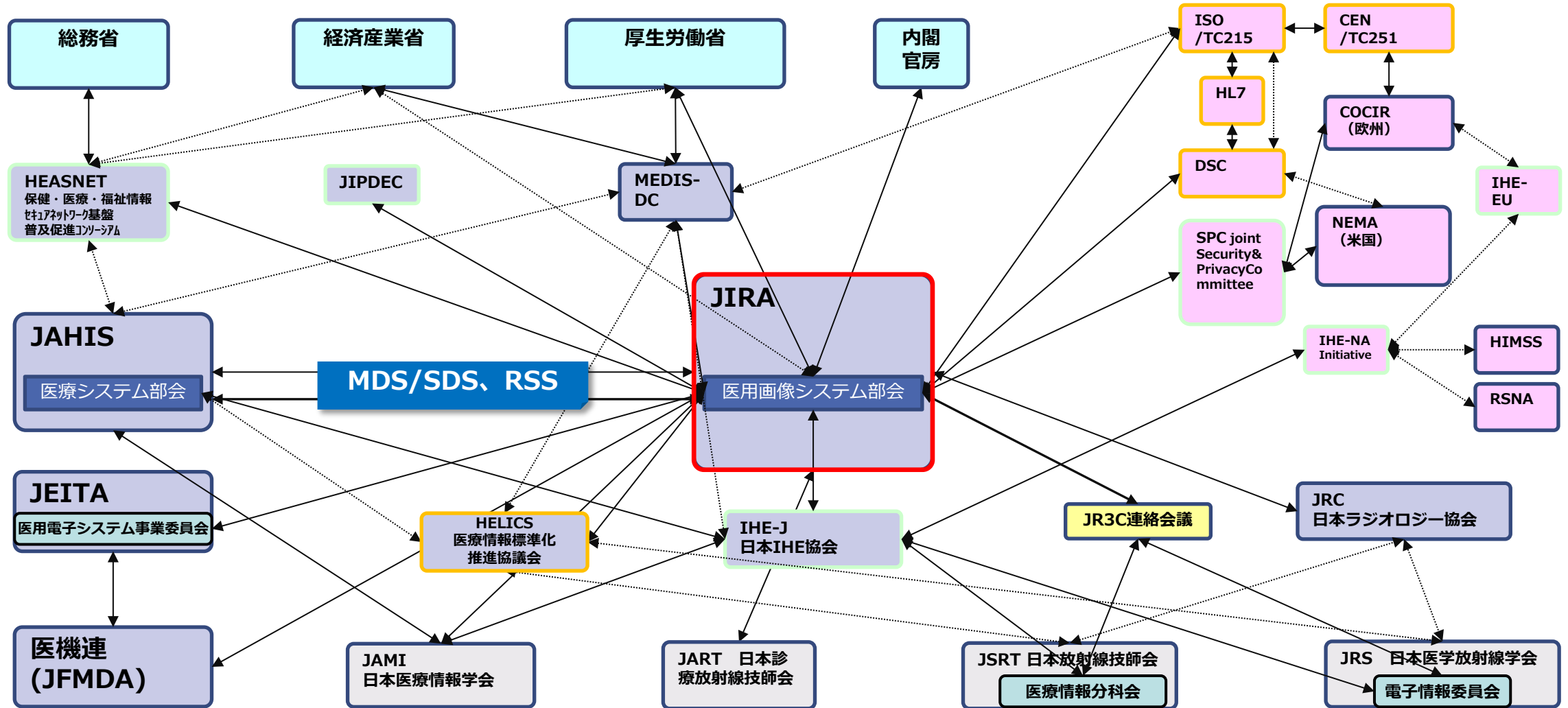


医用画像システム部会の紹介

委員会(2025年度 委員長)	ミッション、活動内容
モニタ診断システム委員会 (前田 一哉)	適切なモニタ画像診断の普及活動 - ガイドラインの作成や見直し、モニタ精度管理セミナー共催 - 普及活動、規格動向やモニタ品質管理の実態調査
セキュリティ委員会 (堀野 誠人)	セキュリティ要件の明確化、医療情報の安全な取扱い - 国内外の関連規格/技術動向の情報交換と討議 - ガイドラインの策定や国際標準化
DICOM委員会 (中野 信一)	医学・医療機器の進歩に合わせたDICOM規格の展開 - DICOM規格の普及/画像情報関連規格の検討 - 専門家やユーザを交えた検討、DICOMセミナー活動
画像診断レポート委員会 (原 真)	画像診断レポートの標準化、各ツールの開発 - 異なるシステム間でデータを交換する手順の標準化 - 普及促進のためのツール提供と広報活動
企画・広報委員会 (高野 博明)	部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発 - 企画・広報担当として、ホームページ運営、報告会の開催 - ITEM等企画展示への協力、学会誌等での部会活動の紹介

医用画像システム部会の紹介

【参考】活動関係諸団体



合同(活動)報告会の趣旨

■ 当部会での活動(進捗)状況を、タイムリーかつ丁寧に報告する機会を設けること、
委員会間での情報共有・連携強化が目的

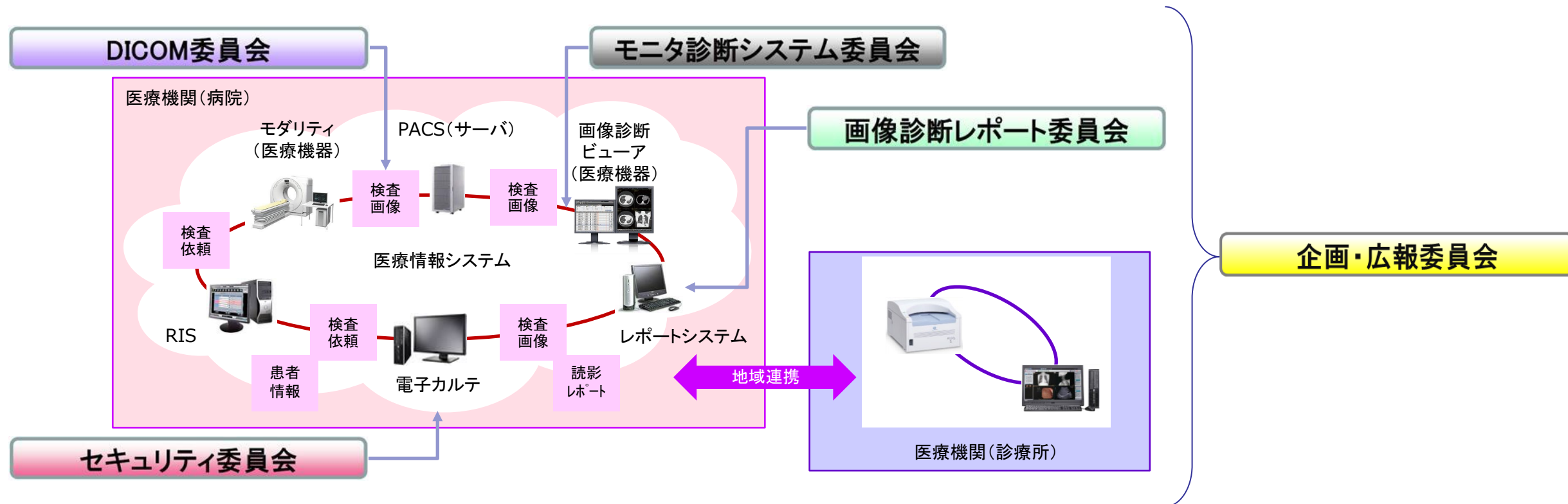
- ・活動成果の、JIRA会員企業等へのインパクトの最小化、効果の最大化
- ・後半に向けた、2025年度事業計画・重要課題の再認識、2026年度検討への準備

	セキュリティ委員会	DICOM委員会	画像診断レポート委員会	モニタ診断システム委員会
標準化による、 相互運用性と、 安全性の確保	①MDS/SDS、JESRAの改定 ②RSS、JESRAの改定 ③医療機器のセキュリティ対策	①CPack/LB/PCへの対応 ②SWG活動(セミナー活動、他) ③JESRAの改定(TR-0044,-045)	①CDA GLの利用拡大検討 ②レポートの2次利用模索 ③マスターやコードの調査	①医療機器、新JESRA周知・啓発 ②施設要件化に関する協議 ③新JESRAの実運用化(WG発足)
教育・啓蒙活動	④MDS/SDS、RSSの講演	④DICOMセミナーの開催	④既読管理セミナーの開催	④精度管理セミナーの開催
企画・広報活動	⑤合同報告会(9月)			
企画・広報委員会	⑥2025年度 部会成果報告会(2026年、3月)			
	⑦JIRA産業ビジョン2030を見据えた、部会活動の見直し(2026年度事業計画の策定)			
	⑧JIRA内の他部会・委員会との連携強化(見学会、外部開催、合同でのセミナー開催、等)			

医用画像システム部会の活動

■ 医用画像システム部会のミッション ～医療ICT推進における課題への取り組み～

- ① 標準化による相互運用性、安全性の確保
- ② 医療イノベーションの実現と画像医療システム産業拡大への貢献 ⇒ 中期(3年)計画
- ③ 画像診断装置等における更なるイノベーションの促進 ⇒ 重要課題(2025年度)



2024年度の活動成果の展開(今年度)

モニタ診断システム委員会

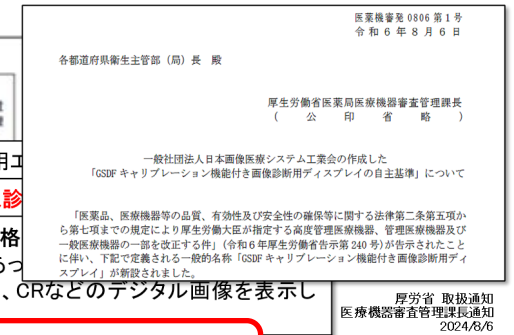
- **ディスプレイの医療機器化(一般的名称の取得)**を達成。
- 会員向け説明会、学会教育セミナー(10月、JCRTM沖縄)に対応。
- 医療機器化に併せて、**JIRA自主基準(業界出荷基準、JESRA TI-0004)**を作成。
- 新JESRA(JIS整合、JESRA TR-0049²⁰²⁴)を制定。
- 「**第10回 JART・JIRA共催ディスプレイ精度管理セミナー**」を開催。

6/5のJIRA総会にて
会長表彰(感謝状)
を受賞

6/5の活動報告会で発表

画像診断用イメージャの項の次に次のように加える

類別コード	類別名称	中分類名	コード	一般的名称	一般的名称定義	クラス分	GHTFルール	特定保守	設置管理
器09	医療用エックス線装置及び医療用コンピュータ			器09 医療用エックス線装置及び医療用コンピュータ					
	一般的名称			GSDFキャリブレーション機能付き画像診断用ディスプレイ					
	医療機器の分類等	特定保守		該当			G1	該当	



セキュリティ委員会

- **MDS/SDS Ver.5.0**(JESRA TR-0039*E²⁰²⁴)発行、Q&A集改定。
- **RSS Ver4.0**(JESRA TR-0034*D²⁰²⁴)発行。ISO改定の推進。
- 医療機器/サイバーセキュリティ対策(医機連/WG、JIRA/TF等)へ参画。
- **MDS/SDSの厚労省標準規格化**、TC215 WG4参画、等

6/5の活動報告会で発表

DICOM委員会

- CPack-126~130にて全100件をレビュー。LB 11件、PC 10件へ対応。
- JIRA発の提案(CP2461)、Sup245の規格化を推進。
- **DICOMセミナー**を1回(2日間)開催。約60名参加。
- JIRAワークショップ(10月、JCRTM沖縄)に対応。

JIRA-JAHIS情報
連絡会を再開
5/23

画像診断レポート委員会

- CDA GL利用拡大に向け、CDA⇄FHIR相互変換を検討。
- 診断レポートに関するパンフレット、既読管理に関する資料の公開。

企画・広報委員会

- **合同報告会(9月)**、**成果報告会(3月)**を夫々開催。
- JIRA HP/パンフレットの修正、DATA BOOKへの加筆・修正、等。

JIRA 一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association

Home > セミナー > 公開中のセミナービデオ > セミナービデオライブラリー

セミナー：公開中のセミナービデオ

セミナービデオライブラリー

■部会・委員会：2024年度 活動報告・2025年度 活動計画

公開日： 2025年7月7日（月）～2026年3月31日（火）

1. 経済部会
部会長：須賀 秀徳
講演資料

2. 医用画像システム部会
副部会長：高野 博明
講演資料

3. 法規・安全部会
部会長：出川 宏規
講演資料

4. 標準化部会
部会長：林原 良
講演資料

JIRA

2024年度 活動報告・2025年度 活動計画

JIRA 医用画像システム部会

2025年 6月 26日

医用画像システム部会 部会長 湯澤 史佳
副部会長 高野 博明

JIRAホームページ(セミナー：公開中のセミナービデオ)：

https://www.jira-net.or.jp/seminar/seminar_video_2025_0707.html

動画視聴、講演資料一覧：

https://www.jira-net.or.jp/seminar/video/20250707/view_2025_0707.html

講演資料：

https://www.jira-net.or.jp/seminar/video/20250707/files/slide_02.pdf

JIRA

一般社団法人 日本画像医療システム工業会

Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association

Google 提供

検索

会員登録

Home

関係団体リンク

サイトマップ

お問い合わせ

English

JIRAについて

部会・委員会等

刊行物

Home

セミナー

公開中のセミナービデオ

セミナービデオライブラリー

セミナー：公開中のセミナービデオ

セミナービデオライブラリー

第14回 JIRA活動報告会

プログラム

テーマ：第14回 JIRA活動報告会

(6は2025年度会長表彰対象グループ)

1. 2026診療報酬改定に向けた経済部会の取り組み

2. IMDRF 東京会議

3. 画像診断装置等の情報セキュリティ・サイバーセキュリティ

4. IEC/JIS標準化活動への取り組みについてーJIS開発についてー

5. 国際展開上の課題と対応について

6. ディスプレイの医療機器化に向けた取り組み

法規・安全部会 副部長 諸岡 正

医用画像システム部会 企画・広報委員会 委員長 高野 博

標準化部会 部長 林原 良

国際委員会 委員長 福永 智

医用画像システム部会 TF「画像診断に安全を提供する医用モニタの協議」 主査 前田 一

JIRA

第14回 JIRA活動報告会

画像診断装置等の情報セキュリティ・サイバーセキュリティ

医用

第14回 JIRA活動報告会

「ディスプレイの医療機器化に向けた取り組み」

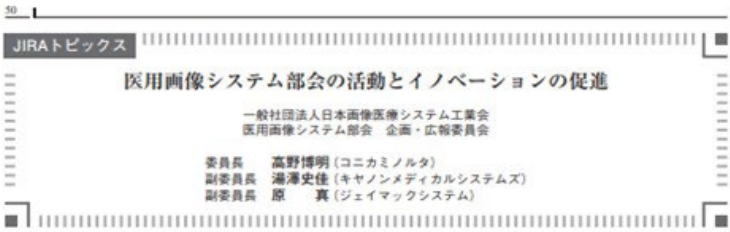
～TF(タスクフォース)「画像診断に安全を提供する医用モニタの協議」～

活動期間：2021年7月～2024年9月

2025年6月5日

TF：医用画像システム部会 前田一哉、安田 哲也
玉井 良明、高野 博明

法規・安全部会 松尾 秀隆
標準化部会 林原 良



はじめに

一般社団法人日本画像医療システム工業会 (JIRA) 医用画像システム部会は、「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2030」¹⁾ の実現を指針とし、JIRA 内外の組織や新たな医療産業分野との連携体制を強化しながら、医療情報の利活用の促進、AI の社会実装拡大に向けた環境整備による「医療イノベーションの実現と画像医療システム産業拡大への貢献」を目指すことを「中期 (3 年) の活動方針」に掲げた。特に海外市場での競争力の確保に向け、国際標準化を成果目標としている。

本稿では、医用画像システム部会の活動と成果、ならびに「画像診断装置等におけるイノベーションの促進」に向けた、今後の取り組み方針について記述する。

1. 相互運用性と安全性確保への対応

従来、モダリティや Picture Archiving and Communication Systems (PACS) 等の画像医療システムでは、Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM)、Health Level Seven (HL7)、Integrating the Healthcare Enterprise (IHE) 等の国際規格により、医療情報の相互運用性が確保されてきた (Fig. 1)。

一方、医療情報の安全管理・運用への指針として、総務省、経済産業省および厚生労働省から、医療情報を取り扱う事業者が準拠すべきガイドラインが示されている。医療機関等を対象とする厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(厚労省ガイドライン、Fig. 1②) は、データヘルス改革の推進、サイバー攻撃の巧妙化等の社会情勢を背景として、2023 年 5 月 31 日に第 60 版へ改定された。

また、総務省、経済産業省の「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供事業者における安全管理ガイドライン」(省ガイドライン、Fig. 1①) は、2023 年 7 月の第 1.1 版への改定を経た後、2024 年 10 月には第 20 版案のバグコメを実施。2025 年 3 月、正式に発行されている。

1-1 画像医療システムにおける安全確保

厚労省ガイドラインへの対応として、医用画像システム部会は、一般社団法人医療機器情報システム工業会 (JAHS) との合同 WG にて、「製造業者/サービス事業者による医療情報セキュリティ開示書 (MDS/SDS、Fig. 1③)」ガイド、「リモートサービスセキュリティガイドライン」(RSS、Fig. 1④) を作成した^{2,3)}。また、個人情報保護に対し、匿名化処理と取得した情報の実務的取り扱いに関する技術文書を作成し、公開を行っている⁴⁾。

1-2 医療機器のサイバーセキュリティ対策

「国際医療機器規制当局フォーラム (IMDRF) による医療機器サイバーセキュリティの原則及び実践に関するガイダンスの公表について」通知が発出されたことを受けて、製販業者向け「医療機器のサイバーセキュリティ導入に関する手引書 (導入手引書、Fig. 1⑤)」が 2021 年 12 月に発出された。当該手引書では、ANSI/NEMA 規格である MDS2 と SBOM 等を顧客向けのセキュリティ開示文書として記載している。

2023 年 3 月 31 日の基本要件基準改正と併せて、導入手引書の第 20 版、および医療機関向け「医療機関における医療機器のサイバーセキュリティ確保のための手引書 (確保手引書、Fig. 1⑥)」が発出された。

その後、確保手引書においても追補版への改定が検討されたものの、医療機関等の意見から、当該手引書の見直しが優先された。

1-3 法規制対象外ヘルスソフトウェアの安全確保

JIRA、JAHS、JEITA (一般社団法人電子情報技術産業協会) の 3 団体は、経済産業省の「医療用ソフトウェア分野ヘルスソフトウェア開発に関する基本的考え方: 開発ガイドライン 2014 (手引き)」を基に、一般社団法人ヘルスソフトウェア推進協議会 (GHS) を設立した。以来、約 10 年近くにわたり、ヘルスソフトウェアの安全と品

日本放射線技術学会雑誌

■新パンフレット(医用画像システム部会紹介、2案)の作成・公開(JIRAホームページ、JIRAトピックス)

■部会紹介に関するパンフレットの公開 (2025/04, 2025/05)

当部会の活動内容を分かりやすくまとめたパンフレットを刷新しました。

公開資料

- 医用画像システム部会紹介のパンフレット 1
- 医用画像システム部会紹介のパンフレット 2

JIRAトピックスへ掲載

JIRA 一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association

医用画像システム部会

当部会の目的
画像医療に関連する情報システム市場の健全な発展に寄与する。

活動内容

本委員会
医用画像システムの相互運用性と安全性、品質確保に関する標準規格、ガイドラインの策定と普及活動、さらには問題解決のための提言を国内外の関連団体と協議して推進する。
JIRA産業ビジョンの実現を担う中核的役割、年度毎の重要課題を策定し、部会活動を支援する。

モニタ診断システム委員会
適切なモニタ診断システムの普及活動
・ガイドラインの作成や見直し、ディスプレイ精度管理セミナー開催
・普及活動、規格動向や品質管理の実態調査

セキュリティ委員会
セキュリティ要件の明確化、医療情報の安全な取り扱い
・国内外の関連規格/技術動向の情報交換と討議
・ガイドラインの策定や国際標準化

DICOM委員会
医学・医療機器の進歩に合わせたDICOM規格の展開
・DICOM規格の普及/医療情報連携規格の検討
・専門家やユーザを交えた検討、DICOMセミナー活動

画像診断レポート委員会
画像診断レポートの標準化、各ツールの開発
・異なるシステム間でデータ交換する手順の標準化
・普及促進のためのツール提供と広報活動

企画・広報委員会
部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発
・企画、広報担当として、ホームページ運営、報告会の開催
・ITEM等企画展示への協力、学会等での部会活動の紹介

DICOM委員会 (事務局: モニタリイ (医療機器))
PACS (サーバ) 画像診断システム
RIS 画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

モニタ診断システム委員会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

セキュリティ委員会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

医用画像システム部会

提言活動
地域医療連携
セキュリティ

ガイドライン制定
安全セキュリティ
ディスプレイQA

海外との連携
COCIR
NEMA

行政の窓口
厚生労働省
経済産業省

広報
ホームページ
会報

他団体との連携
他工業会
医学会

標準規格
制定と普及
ISO IEC
DICOM

啓発 普及
執筆
報告会

JIRA 一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association
www.jira-net.or.jp

JIRA 一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association

医用画像システム部会

当部会の目的
画像医療に関連する情報システム市場の健全な発展に寄与する。

活動内容

本委員会
医用画像システムの相互運用性と安全性、品質確保に関する標準規格、ガイドラインの策定と普及活動、さらには問題解決のための提言を国内外の関連団体と協議して推進する。
JIRA産業ビジョンの実現を担う中核的役割、年度毎の重要課題を策定し、部会活動を支援する。

DICOM委員会
医学・医療機器の進歩に合わせたDICOM規格の展開
・DICOM規格の普及/医療情報連携規格の検討
・専門家やユーザを交えた検討、DICOMセミナー活動

モニタリイ (医療機器)
PACS (サーバ) 画像診断システム
RIS 画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

モニタ診断システム委員会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

セキュリティ委員会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

企画・広報委員会
部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発
・企画、広報担当として、ホームページ運営、報告会の開催
・ITEM等企画展示への協力、学会等での部会活動の紹介

医用画像システム部会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

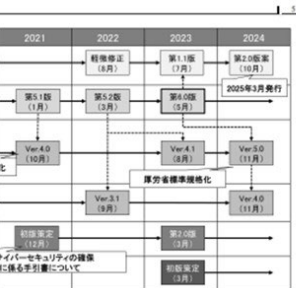


Fig. 1 行政と工業会における標準化への対応

買向上に向けた活動に取り組んできたが、2024年10月31日の臨時社員総会にて、解散決議が承認された。

2. 医用画像システム部会の活動と成果

当部会は、本委員会による全体マネジメントの下、5つの委員会と1つのWGで活動を進めている (Fig. 2)。それぞれが「中期 (3年) の活動方針」である「医療の質・安全性の向上と医療機器産業拡大への貢献」への取り組みを進めている。各委員会の活動と2024年度の成果は次のとおりである。

- 2-1 セキュリティ委員会 (委員長 堀野 誠人): セキュリティ要件の明確化、医療情報の安全な取り扱い
当委員会では、画像医療システムにおける安全性と品質確保に向けた対応を行っている。
- ① MDS-WG 活動 (JIRA/JAHS 合同) において、厚労省ガイドライン第6.0版への対応に向け、MDS-SDS Ver.4.1のVer.5.0 (JISRA TR-0039*E) への改定作業を行った。
- ② RSS-WG 活動 (JIRA/JAHS 合同) において、RSS Ver.4.0 (JISRA TR-0034*E) の改定作業を行った。
- ③ 医療機器/サイバーセキュリティWG、JIRA/サイバーセキュリティWGへ委員を派遣し、医療機器のサイバーセキュリティ対策の検討に参画した。
- ④ 厚生労働省/医療機器情報利用WGへオブザーバー、厚生労働省/医療機器情報標準化会議の構成員として参画した。

Vol. 81 No. 7 Jul 2025

JIRA 一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association

医用画像システム部会

活動方針
医療の質・安全性の向上と医療機器産業拡大への貢献

活動内容

本委員会
医用画像システムの相互運用性と安全性、品質確保に関する標準規格、ガイドラインの策定と普及活動、さらには問題解決のための提言を国内外の関連団体と協議して推進する。
JIRA産業ビジョンの実現を担う中核的役割、年度毎の重要課題を策定し、部会活動を支援する。

DICOM委員会
医学・医療機器の進歩に合わせたDICOM規格の展開
・DICOM規格の普及/医療情報連携規格の検討
・専門家やユーザを交えた検討、DICOMセミナー活動

モニタリイ (医療機器)
PACS (サーバ) 画像診断システム
RIS 画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

モニタ診断システム委員会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

セキュリティ委員会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

企画・広報委員会
部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発
・企画、広報担当として、ホームページ運営、報告会の開催
・ITEM等企画展示への協力、学会等での部会活動の紹介

医用画像システム部会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

Fig. 2 医用画像システム部会の活動 (パンフレット)

JIRA 一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association

医用画像システム部会

活動方針
医療の質・安全性の向上と医療機器産業拡大への貢献

活動内容

本委員会
医用画像システムの相互運用性と安全性、品質確保に関する標準規格、ガイドラインの策定と普及活動、さらには問題解決のための提言を国内外の関連団体と協議して推進する。
JIRA産業ビジョンの実現を担う中核的役割、年度毎の重要課題を策定し、部会活動を支援する。

DICOM委員会
医学・医療機器の進歩に合わせたDICOM規格の展開
・DICOM規格の普及/医療情報連携規格の検討
・専門家やユーザを交えた検討、DICOMセミナー活動

モニタリイ (医療機器)
PACS (サーバ) 画像診断システム
RIS 画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

モニタ診断システム委員会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

セキュリティ委員会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

企画・広報委員会
部会活動計画の企画、成果の周知及び啓発
・企画、広報担当として、ホームページ運営、報告会の開催
・ITEM等企画展示への協力、学会等での部会活動の紹介

医用画像システム部会
画像診断システム
電子カルテ
レポートシステム
画像診断システム

■JAHIS_2025年度「医療情報システム入門コース」(VOD開催)への協力

単元	時間 (目安です)	単元名／内容
I	55 分	医療をめぐる動向ガイダンス ・ 医療業界、医療 IT 業界に影響を与える制度、政策を紹介 ・ ヘルスケア IT に関して目指すべき方向性を示した JAHIS2030 ビジョンを紹介
II	65 分	医療機関における医療情報システム ・ 病院とは ・ 病院における医療情報システム ・ 病院業務と医療情報システム ・ その他医療機関における医療情報システム ・ 医療情報システムの変遷・歴史 ・ 地域連携システム
III	25 分	医療情報システムの標準化について ・ JAHIS パンフレットをもとに説明
IV	35 分	医療情報システムの患者安全に関するリスクマネジメント ・ 必要性和国内外の動向、医薬品医療機器法、JAHIS の取り組み等について紹介
V	80 分	プライバシーとセキュリティ ・ 基本的な考え方 ・ 法令とガイドライン ・ 医療における個人情報 ・ セキュリティ関連技術
VI	145 分	医事会計システム ・ 医事会計システム概要 ・ 電子レセプトの概要 ・ DPC の概要 ・ 診療報酬改定への対応について
VII	90 分	電子カルテシステム (オーダーエントリーシステムも含む) ・ 成り立ち、全体像、目的、他システムとの関連及び、今後の方向性 ・ 病院基幹システムとして、診療記録・病院ワークフロー・部門システム連携などの機能について説明
VIII	40 分	部門システム ・ 部門システムとは? 代表的な部門システムの紹介
IX	30 分	物流システム ・ 物流システム (薬剤管理、医療材料管理) の紹介
X	75 分	検査システム ・ 検査システム (臨床検査)
XI	50 分	地域医療システム ・ 医療情報システムにお ・ 目的、対象範囲、他システムと ・ 今後の方向性
XII	35 分	医用画像システム ・ 医用画像システムの紹介

引き続き、書籍『医療情報システム入門』の
原稿確認へ対応予定

目次 医用画像システム	
【①】はじめに	1. 病院全体からみた医用画像システムの位置づけ
【②】医用画像システムの機能	1. 各画像種類の概要 2. 医用画像システムの機能
【③】標準規格・ガイドラインとの関連	1. DICOM規格 2. IHEプロファイル
【④】医用画像システムの応用	1. 被ばく管理 2. 地域連携



目次 医用画像システム	
【①】はじめに	1. 病院全体からみた医用画像システムの位置づけ
【②】医用画像システムの機能	1. 各画像種類の概要 2. 医用画像システムの機能
【③】標準規格・ガイドラインとの関連	1. DICOM規格 2. IHEプロファイル
【④】医用画像システムの応用	1. 被ばく管理 2. 地域連携



目次 医用画像システム	
【①】はじめに	1. 病院全体からみた医用画像システムの位置づけ
【②】医用画像システムの機能	1. 各画像種類の概要 2. 医用画像システムの機能
【③】標準規格・ガイドラインとの関連	1. DICOM規格 2. IHEプロファイル
【④】医用画像システムの応用	1. 被ばく管理 2. 地域連携 3. ディスプレイ精度管理



2025年度の事業計画と活動状況

■ 画像診断装置等における更なるイノベーションの促進 ⇒ 2025年度重要課題

- ・画像診断レポートの標準化やデータ収集・利活用のための相互運用性と安全性の確保
 - ・医療機器を含むサイバーセキュリティ対策に必要な仕組みの整備、運用の支援
- ※医療の質・安全性の向上に加え、次年度に向けて、経済性と有効性への対応も検討を開始する。

	セキュリティ委員会	DICOM委員会	画像診断レポート委員会	モニタ診断システム委員会
標準化による、相互運用性と、安全性の確保	①MDS/SDS、JESRAの改定 ②RSS、JESRAの改定 ③医療機器のセキュリティ対策	①CPack/LB/PCへの対応 ②SWG活動(セミナー活動、他) ③JESRAの改定(TR-0044,-045)	①CDA GLの利用拡大検討 ②レポートの2次利用模索 ③マスターやコードの調査	①医療機器、新JESRA周知・啓発 ②施設要件化に関する協議 ③新JESRAの実運用化(WG発足)
教育・啓蒙活動	④MDS/SDS、RSSの講演	④DICOMセミナーの開催	④既読管理セミナーの開催	④精度管理セミナーの開催
企画・広報活動	⑤合同報告会(9月)			
企画・広報委員会	⑥2025年度 部会成果報告会(2026年、3月)			
	⑦JIRA産業ビジョン2030を見据えた、部会活動の見直し(2026年度事業計画)			
	⑧JIRA内の他部会・委員会との連携強化(見学会、外部開催、合同でのセミナー開催、等)			

8/22,25に第1回を開催

6/20上半期DICOM
セミナーを開催

9/6にセミナーを開催

9/26に開催

9/19に
JIRA-JAHIS情報
連絡会を開催

御清聴 ありがとうございました。



一般社団法人日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association